

# ふくしま発世界へ！海ごみ抑制 「FUKUSHIMA宣言」

ふくしま海ごみ削減プロジェクト実行委員会

## 2021年度 成果

2021年度の成果として、①海ごみゼロウィークを中心とした、清掃活動の広がり②ダンロップスリクソン福島オープンを中心としたスポーツ連携の進化を挙げたい。①に関しては、春・秋ともに、県内5か所同時に清掃活動を開催した。市長や、企業ぐるみの参加など、自治体や企業との連携が深まり、「ごみ拾い」を起点とした、地域連携ネットワークモデルができつつある。②に関しては、ゴルフトーナメント期間中だけでなく、事前に地元の子供達とプロゴルフ会の清掃活動を行ったり、出場選手からのメッセージ発信や、チャリティの実施で福島県へ寄附等、コロナ禍での新しい啓発活動のモデルになった。サッカーチームとの連携でも、単なる冠試合から、参加した子供達に「海への親しみ」を醸成するようなイベントを組み入れるなど新しいチャレンジができた。



### 清掃活動を通じた 地域連携モデル

春・秋の海ごみゼロウィークを県内5か所で同時開催。市長や企業単位での参加が増え、「ごみ拾い」を起点に地域連携。



### ゴルフトーナメント 連携モデル

ダンロップスリクソン福島オープンと連携。プロゴルフ会と子供達との事前清掃活動やチャリティなど立体的に展開。



### 地域スポーツ連携モデル

いわきFC公式戦で「海ごみゼロ」マッチを開催。ユースチームとサポーターの清掃活動や、子供達の漁師体験等複合的に展開



### 流通企業連携モデル

県内最大のスーパーマーケット「ヨークベニマル」6店舗で店頭啓発イベント開催。海ごみに関する意識調査も行う。

その他：いわきサンシャインマラソン連携企画、年末大掃除プロジェクト等を実施

## メディア露出



6/1～4 回放送  
「熱弁～海ごみ削減プロジェクト～」



6月 海ごみ削減プロジェクト  
「プロゴルファー啓発CM」



6/6 (日)  
「ゴジてれ×Sun!」



10/25 (月)  
「NNNストレートニュース」

その他：TV18本 WEB15本 新聞3紙 掲載

## 2021年度の課題とこれからの展望

2021年度の課題としては、福島県民に「自分事化」として海ごみ問題を認識してもらうため、地域課題と紐づけた（例えば、福島県の家庭ごみ排出量がワースト2位）訴求が必要と考える。また、効果的な訴求を検証するための調査活動も課題である。次年度に向けては、スポーツや流通連携は継続しつつ、福島県内に散在する、海ごみの「熱源」人材をつなぐ取り組みにもチャレンジしていきたい。「海ごみ」を起点としたネットワークが広がることで、県民運動に近づくと考える。